

12月

1 (月)

まこと でし 真の弟子のモデル

みことば さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、使徒9:10-15 「アナニヤよ。」と言われたので、「主よ。ここにおります。」と答えた。

はなやかなファッションショーを見たことがありますか。素晴らしいモデルであるほど、デザイナーが作った服を、見る人の前でとてもかっこうよく着て見せます。おなじように、学んだ教えを他の人々に、よく伝えることができ、自分から実践することができてこそ、よい弟子なのです。サウルに福音を伝えて、彼を最高の伝道者パウロに変えさせた、ダマスコの村のアナニヤこそが、そのような真の弟子のモデルです。

1. 私にふさわしい伝道の祝福を味わいましょう

「主よ、私はここにいます」アナニヤは、神様がよばれたとき、すぐ答えました。前から教会を迫害していたサウロについてのうわさも十分聞いていたのですが、おそれませんでした。アナニヤは、インマヌエルを味わって、いつも伝道を計画していた弟子でした。それで、神様が迫害する者のサウロを自分にまかされたという事実を悟って、すぐに伝道を実行にうつしたのです。

2. 私にぴったり合う時刻表にしたがって祈りましょう

神様の子どもは、答えを受けるのは当然です。しかし、祈りをのがせば、神様の時刻表が分かりません。神様は祈っていた弟子であるアナニヤにあらわれてくださいました。そして、祈るサウロに会うように導かれたのです。アナニヤの心からの祈りで、目が見えなくなったサウロが、また見えるようになりました。それで、からだと心に大きい力を受けたサウロが、バプテスマを受ける救いの時刻表がなされました。

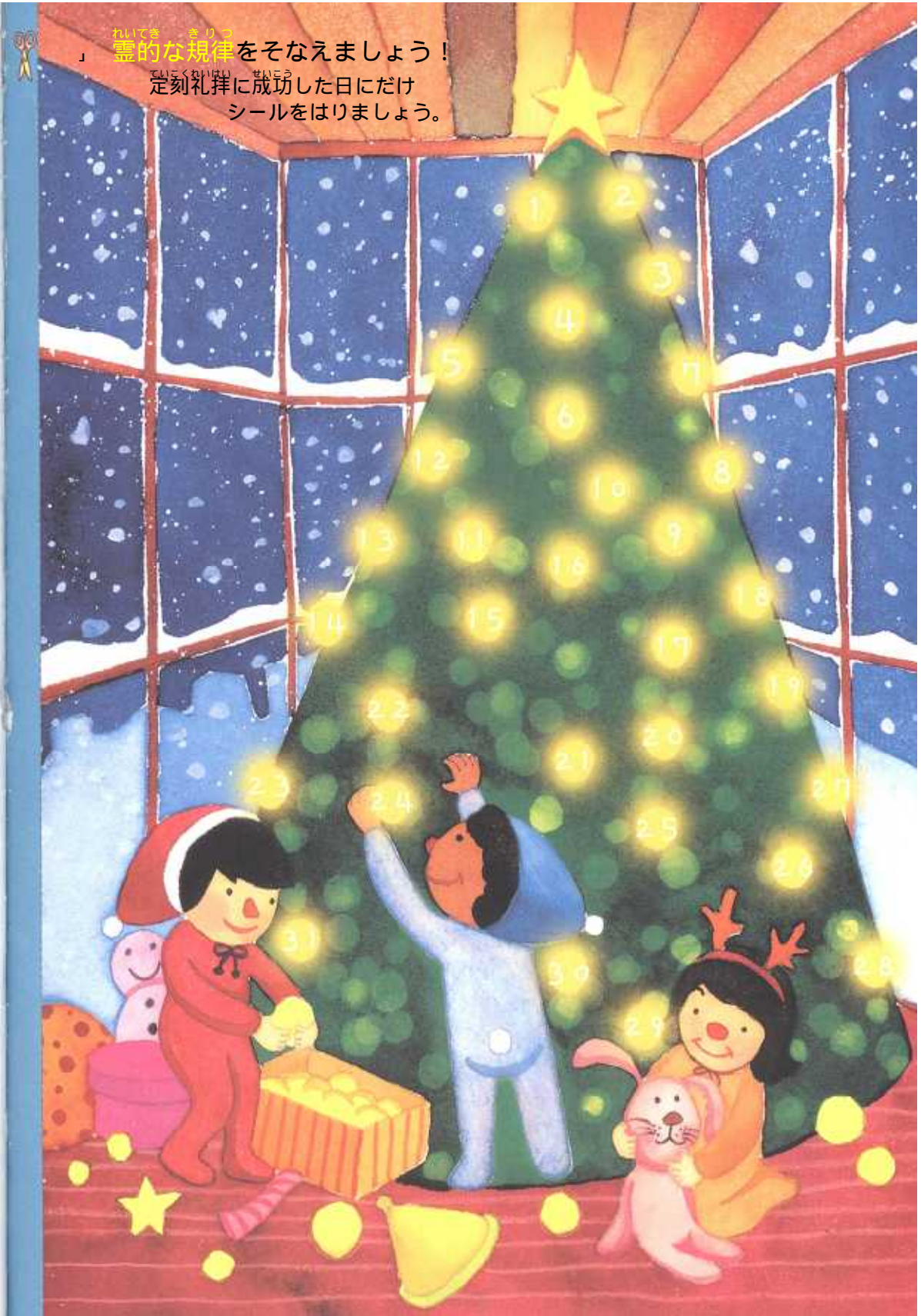
3. 私にあたえられた現場で神様をじまんしましょう

ダマスコには、アナニヤのほか他の弟子はいなかったのでしょうか。たぶん、通りにあるユダヤ人の家を訪問した弟子は、多かったでしょう。しかし、特別にアナニヤは現場で聖霊に導かれる弟子でした。また、キリストのみことばに従順にして、福音を伝える伝道者だったのです。アナニヤのように、レムナントも、迫害する者まで異邦人の使徒に変化させる良い神様を、友だちにじまんしましょう。

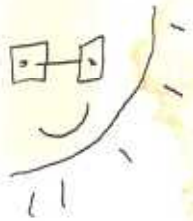
神様に お願いします。

伝道する弟子のモデルを見せてくださる神様に感謝します。アナニヤのようにふだんから、私の伝道、私の祈り、聖霊に導かれる私の現場、他の友だちと福音がおたがいに通じる会話ができる私のフォーラムを味わうことができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

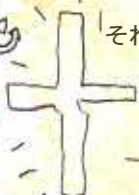
「^{ねいき}霊的な^{まりこ}規律をそなえましょう！
定刻^{じやく}礼拝^{らいがい}に^{せいこう}成功した日にだけ
シールをはりましょう。



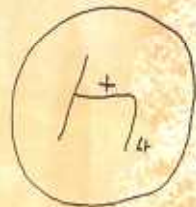
わたしの ころの 主人は だれ?
 나의 마음 주인은 누구?



나의 마음이 주인인 하나님이다.
 わたしの ころの 主人は 神様
 하지만 조금씩 다마사를 때가 있다.
 예배시간 때도 즐겁고 한다.
 れいはいの 時間にも うとうとする다.



하지만 언제나 나의 마음 주인인 하나님
 それでも, いつも わたしの ころの 主人は 神様
 사탄한테 욕기도 하지만
 즐겁고 사탄에, 다마사될 けれど
 うとうとするけれど



사탄

재미있



그래도 나의 마음 주인은 하나님
 또한 악순장을 해봐 용서해줘서
 해하면 또다시 나는 하나님 자녀

안병진 장성중앙초등학교 4학년 열애교회

それでも わたしの ころの 主人は 神様
 また、どんなに よくないことをしても ゆるしてくださり
 くいあらためれば わたしは 神様の子ども

4年
 아-비욘진 찬송중 中央小学校 ヨル나교회

12月

2(火) もうこれ以上、痛く感じません

みことば レアがヤコブに産んだ娘ディナがその土地の娘たちを訪ねようと
創世記 34:1~31 して出かけた。すると、その土地の族長のヒビ人ハモルの子
シェケムは彼女を見て、これを捕え、これと寝てはずかした。

「きょねんの夏に、おじさんにむりやりみだらなことをされました。私は今、小学校5年です。おじさんは、お父さんやお母さんに言うなど言うので・・・」ある女の子が泣きながら相談室に電話をしてきました。おじさんから、みだらなことをされたあとは、そのことが頭からはなれないので、どうしたらよいかわからないから、助けてくださいと言いました。

1. なぜ、そのようなことがよく起きるのでしょうか

一年間にだけでも、韓国では13歳にならない子どもに対する性犯罪が700件あまりを越えています。犯罪があっても、それを訴える子どもが10%以下だということなので、被害にあった子どもたちは、はるかに多いでしょう。おどろくべきことに、ふだんにいつも通っている所で、親戚や近所の人々にみだらなことをされる場合が多いために、だれにも話すことができないのです。これは個人が良い、悪いと問う以前に、神様をはなれた創世記3章のすがただとはっきりと分らなければなりません。

2. もう少し注意して犯罪を予防しましょう

これから、みだらなこと、セクハラのような性犯罪がもっと増えるでしょう。それで、予防する教育が何よりも重要です。親はいつもいろいろな状況を予想しなければなりません。子どもたちも、なにげなく通り過ぎずに、周囲の人々を注意深くよく見てください。ひょっとして、かわいいと言ってからだをさわったり、変な話で心を傷つけられる時は、はっきりと「だめだ!いやだ!やめて!」と声を出して人がたくさんいる所に、動いて行って助けを求めましょう。

3. 福音でだけすべての問題をいやすことができます

性犯罪をする人たちは、自分では決して解決することができない深刻な霊的問題を持っています。もし、みだらなことをされた経験があるなら、自分自身のためにも、はやく心の傷とらみをすてましょう。そして、いやされる神様のみことばをはやくにぎりましょう。病気のからだ心は、ただ福音でだけいやすことができます。どんな問題にも倒れずに、それを土台として未来に向かって挑戦するレムナントになりましょう。

神様においのりします。

すべての問題と事件を福音の目で見ることができるよう。多くの子どもたちを攻撃するサタンのだましにだまされないようにさせてください。毎日、福音の根を深くおろすレムナントにさせてください。すべての痛みをいやしてくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

12月

じゅんび 準備されていた弟子

3(水)

かわ 皮なめしのシモン

みことば さあ今、ヨッパに人をやって、シモンという人を招きなさい。彼の
使徒 10:1~8 名はペテロとも呼ばれています。この人は皮なめしのシモンという
人の家に泊まっていますが、その家は海べにあります。

長い間、遠くはなれて暮らしていた2人の友だちが、おたがいに会おうと約束しました。ところが、一人が、決めた約束の場所ではないところで、もう一人の友だちをずっと待っていました。もう一人の友だちも、まちがった地図を持って、あちこちさまよっていました。この2人の友だちは、はたして、出会うことはできるでしょうか。たぶん、どんなにがんばっても、絶対に会うことはできないでしょう。

1. 多くの人々が、まちがった目的地に向かって行っています

広く、きれいで新しい道路があっても、その道が入れられていない、古いナビゲーションは、とんでもない道に案内します。カインやヨセフの兄たち、そして、サウル王は、神様のみことばではない、とんでもないのをにぎって生きていました。彼らはまちがった目的地に向かって行って、困難にあっただおろかなモデルになりました。たとえ正しくて良い考えと正しいことばであっても、神様のみことばと関係ないならば、結局、彼らのようにはずかしいことになってしまいます。

2. 神様が覚えておられる所(家)にいきましょう

イタリヤ部隊は、ローマ皇帝カイザルが地方に特別に派遣した軍隊でした。その軍隊の百人隊長であり、ローマ市民であるコネルリオが福音を受けるようになりました。ところで、このことを悟るようになったところが、皮なめしのシモンの家でした。神様は、シモンの家覚えておられ、主のみ使いを送られました。そして、その家にとどまっていたペテロを通して、コネルリオを救われました。

3. 神様のすべての関心がだれに集中しているのでしょうか

神様は、真の福音を持って、自分が住んでいるところ、あるいは、自分がいる現場で真の伝道をしているレムナントに最高の関心を持っておられます。それで、重職者シモンと伝道者ペテロと救われるコネルリオの出会いに、神様の関心が集中しました。彼らのように、いつでも、神様と通じる、私だけの伝道で、神様に用いられる、すてきなレムナントになりましょう。(皮なめし: 動物の皮を使って物を作る人のこと)

神様においのりします。

時代の伝道者として私()を召して下さって感謝します。備えられた重職者の皮なめしのシモンのように、私たちの家が神様に用いられるように。いつも神様と通じて、伝道者を助けるレムナントになりますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ふたりの木こりのおはなし

二人の木こりがいました。まわりながら山で木を切って、市場に持って行って売りながら暮らしていました。ところで、欲ばりの木こりが、もう一人の友だちの木こりに一つ提案をしました。おたがいに時間を決めて、木をたくさん切ったほうの人が、二人の持分をすべて持っていこうということでした。

次の日、二人は朝早くに山に登りました。欲ばりの木こりは、ある力をすべて出さきって、木を切り始めました。休む時間もちっとも休まないで、斧をふり回しました。しかし、もう一人の友だちはちがいました。50分間働いたら、必ず10分ずつ休みました。欲ばりの木こりは、自分がその競争で絶対に勝つと思っていました。

いつのまにか山を降りる時間になって、二人の木こりは自分たちがいっしょうけんめいに働いた結果を比べてみました。ところが、おどろくべきことに、休みながら仕事をした友だちのほうが、ずっと多かったのです。

「だって、君が休んでいる時も、ぼくはいっしょうけんめいに仕事をしていたのに、なんで、君の木のほうがもっと多いのだろう」

すると友だちは、ケラケラと笑いながら「そうだよ。仕事は君の方がもっといっしょうけんめいにしていたよ。でも、ぼくは10分間休みながら、斧の力をといていたのだよ。鈍い斧ではどんなにいっしょうけんめいに仕事しても、効果がないからね」

欲ばりの木こりは、何も言うことができませんでした。



神様の子どもは、どんな事にも最善をつくさなければならないのですが、それよりさらに重要な事実があります。神様がくださる力をその時ごとに受けなければなりません。みことばをにぎって、聖霊の導きを受けなければなりません。そうでなければ、私の力で行って、結局、たおれます。たとえゆっくりと行くことのようにも、結局、競争相手がいないほどリードする弟子の奥義が、聖霊に満たされることの中にあるのです。

れきし きろく

私の歴史記録



12月
4(木)

さいばん ピラトの裁判

みことば そこでピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、
ヨハネ 18:28~40 自分たちの律法に従ってさばきなさい。」ユダヤ人たちは彼に言った。
「私たちには、だれを死刑にすることも許されてはいません。」

「見なさい。私がイエスをむち打って、質問したけれど、あの人には罪を認めません。過越の祭りに、私があるがたのためにひとりの者を釈放するのがならわしになっています。それで、あなたがたのために、ユダヤ人の王を釈放することにしましょうか。」総督のピラトがユダヤ人たちにたずねたのですが、彼らはみんなで大声をあげて言いました。「強盗のバラバを釈放せよ！そして、イエスは十字架につける！その血の贖いは、私たちと私たちの子どもたちにかかってもよい！」

1. イスラエル民族は、福音を悟ることができませんでした

ユダヤを治めていたローマ総督のピラトが、裁判官として4回もイエス様には罪がないと宣言しました。しかし、ユダヤ人の世論がとても強くバラバを釈放して、イエス様は死刑にせよと押ししました。結局、福音をひとつも悟ることができなかつたユダヤの国とユダヤ民族は、その子孫まで、のろわれるようになりました。

2. サタンは、今も働いています

サタンにつかまって、イスラエル民族は、キリストとして来られたイエス様を憎んで十字架に釘づけるという、ものすごく大きな罪を犯しました。彼らの子孫は、23ヶ国に散らされ、2千年間、さまよったのです。独裁者ヒットラーにより、600万人以上が、ひどい殺されかたをしました。そして、今でもサタンは、ただ福音だけを知らないようにさせるために、私たちをだまします。ですから、私たちはいつでも契約を覚えて、目をさましていなければなりません。

3. しかし、神様は大きなみこころをなしとげられました

サタンは、イエス様を十字架につけたのですが、神様は反対に救いの大きな計画をなしとげられました。女の子孫であるイエス・キリストが、聖書どおりに来られ、死なれて、復活され、神様の約束のみことばを成就されたのです。そして、私とすべての人が、いのちを受ける神様の大きなみこころがイエス様の十字架の事件を通してなされたのでした。

世論: 社会のおおぜいの人々の共通した意見

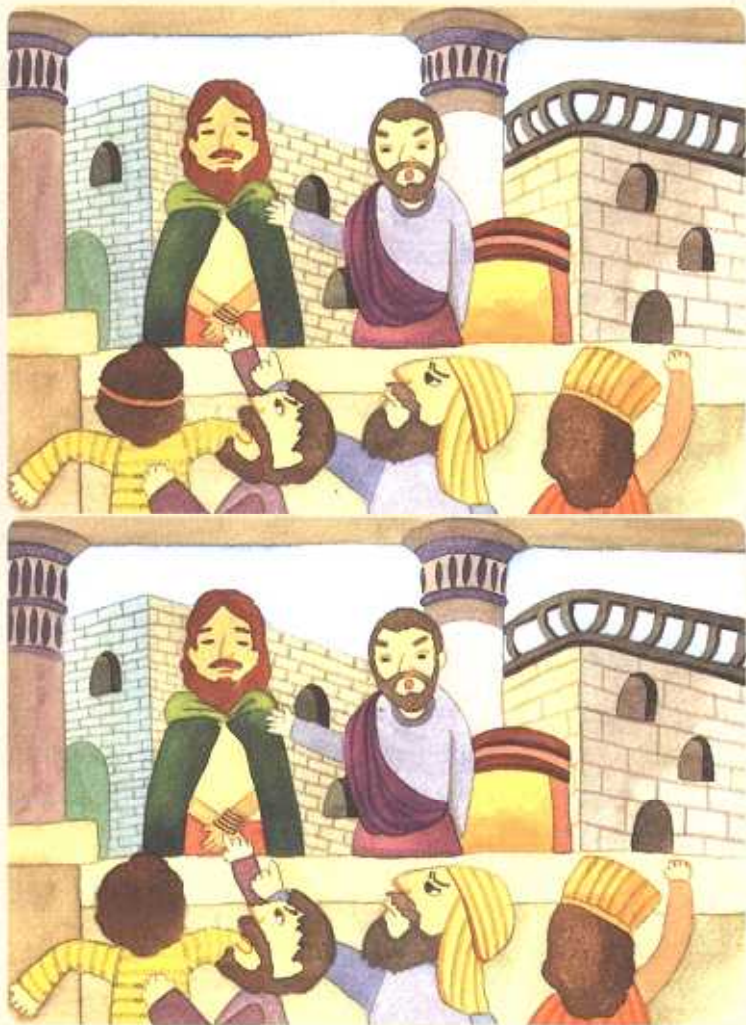
神様に おいのりします

イエス様の十字架の血で私のすべての罪をきれいにしてくださったことを信じます。サタンがどんなに邪魔しても、みことばどおりに成就します。人のことばに揺れることなく、ただ、みことばだけに従っていくレムナントになります。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

pray
pray
pray

イエス様が^{さいばん}裁判にかけられました！

契約をのがしてしまったイスラエルの人々が、キリストであるイエス様をピラトの法廷につれてきました。ヨハネの福音書18:28～40を読んで、どのようになったのか、確認して、下の絵のまちがいさがしをしましょう。



まちがいは8つあります




れきし きろく

私の歴史記録

12月

5 (金)

神様の時刻表を 繰り上げましょう

 みことば さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、
使徒 11:19~30 フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人
以外の者にはだれにも、みことばを語らなかつた。(19)

二人の人がそれぞれ罪を犯して2年間、刑務所に入っていました。一人はいつもくやしがつて、
いいわけばかりしていたのですが、心が大きな病気になるてしまいました。しかし、もう一人は、
自分が良くなかつたと悟り、悔い改めて、熱心に本を読んで、時々、文章を書いていました。2
年後、一人は精神病院に入るようになり、もう一人は時々書いていた文章を本にして、ベスト
セラーの作家になりました。このように、今日という時刻表をチャンスとして使うならば、祝福
を味わうことができます。

1. 悔い改めの祈りで悟ることができます

問題(かん難)がきた時、いいわけをしたり、私の力で解決しようと、もがいてはなりません。まず、
自分のまちがいが何か正しく悟れる悔い改めの祈りからすることが重要です。預言者ヨナや、戻っ
てきた放蕩息子のように、まちがった道からすぐに元に戻るだけすれば、神様が祝福と答えの時刻表
を繰り上げてくださいます。

2. 真の福音と真の伝道を回復しましょう

犠牲のいけにえとして来られた小羊イエス様が、私のキリストです。その方は、インマヌエルで私と
永遠にともにいることを約束してくださいました。この時間、十字架のあがないの血を信じる真の福
音を回復しましょう。また、行く所ごとに真の伝道に献身しましょう。そうすれば、神様の時刻表が
繰り上げられる本物の祝福を味わうようになります。

3. 何よりも、私をまず見つけましょう

私を見つけるという意味は何でしょうか。他の人が答えられのも良いのですが、私が先に力を受けな
ければなりません。今日から私のレベルにぴったり合った伝道を準備して、<子どもの祈りの手帳>
みことばを黙想しながら祈ってみましょう。そうすれば、家の中でも、学校でもおどろくことが行わ
れるでしょう。まわりの友だちに証しするほどのことが、どんどん起きて、私のだれなのか、より
いっそう、確信するようになります。

神様 = おいのりします

私の問題をチャンスににぎって、私の伝道、私の祈り、私の現場、私のフォーラムを回復させてくだ
さい。今日も、神様の大きなみこころがなされる祝福の時刻表を、まず味わうことができますように。
イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

pray
pray
pray

ダーツあそび

まとの中心に命中めいちゆうさせたいですか。まず、2チームで分けてみてください。
2チームの中で高い点数てんすうを取ったチームが勝つ遊びです。

まず、あたえられた聖書個所せいしよこしょを暗唱あんしょうすることができるように、10分間、時間をあげます。

1チームから1人ずつ出てきて、聖書個所せいしよこしょを暗唱あんしょうすることによって、高い点数てんすうをもらえます。

<例>聖書個所せいしよこしょを暗唱あんしょうする時、

完ぺきに暗唱かんあんしょうしたとまだちには中央ちゆうおう(100点)、

1つまちがったら、二つ目の輪わに(75点)、

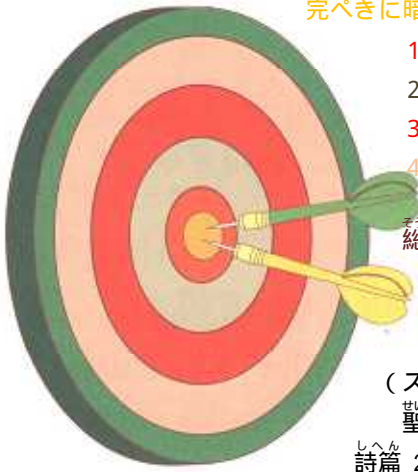
2つまちがったら三つ目の輪わに(50点)、

3つまちがったら四つ目の輪わに(25点)、

4つまちがったら五つ目の輪わに(10点)

なります。

総合点そうごうてんが多いチーム(人)が勝つようになります。



聖書個所せいしよこしょは、次の6つです。

(スペースがないので、箇所かしょだけ書きました。

聖書せいしよから探さがして覚えおぼましょう)

詩篇しへん 27:1 箴言しんげん 16:9 イザヤ 41:10

ヨハネ 16:13 エペソ 4:15 テモテ 4:2

れきし きろく

私の歴史記録



12月

6 (土)

おはなし黙想

人を生かす祝福のことば

マタイ 10:19~20 というのは、話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話されるあなたがたの父の御霊だからです。

「キンコンカンコン！」

授業が終わるベルがなっているときに、ジミンはカバンから、きれいなカードを取り出して友だちに自慢しはじめた。

「きれいでしょ。私たちの教会で、こんどのクリスマスに大きいフェスティバルをするの。友だちを連れてくれば、友だちを連れて来た人みんな、すてきなプレゼントがもらえるの。だれか私といっしょに行かない。」

「ジミン、いっしょに行ったら、本当にプレゼントがもらえるの」

「どんなプレゼントなの」

何人もの子どもたちが、ジミンに尋ねて、カードをもらおうとした。

イエジンは、勉強もよくできるジミンが、子どもたちを教会にもたくさん導く姿を見て、すごくうらやましかった。家に帰るとき、イエジンはジミンにそっと近づいた。

「ジミン、あなたは勉強もよくできて、友だちを教会にもよく連れていき、本当にいいね。あなたは、本当にすてきな神様の子どもね」

ジミンはほめられたので、にこにこしながら、気になるように尋ねた。

「私が神様の子ども？」

「そうよ。ジミン、あなたは救われたのでしょ」

「救いって？ そうね・・・」



「あなたは、教会によく通^{かよ}っていて、友だちも教会にたくさん連^つれていくじゃないの」
「私は、ただ教会に行けばおもしろいゲームもして、先生がプレゼントもたくさんくれるから行っているのよ。そんな私が救^{すく}われているの？」
「ジミン、あなた、イエスがキリストということ^{こと}を信^{しん}じてる？」
「なに？キリスト？それ、なに？」
イエジンはジミンに、何の話からしたらよいのかと思った。

友だちに福音^{ふくい}を伝える前に、先に知っておくべきことがあります。それは私が住んでいる所で福音をよく知らなかったり、聞くこともできない人々が多いということです。あるときは、いつも教会に通^{かよ}っている友だちの中にも救^{すく}われたという確^{かく}信^{しん}がない友だちがいます。それで、いろいろな問^{もん}題^{だい}がくる時ごとに揺^ゆれて苦しみます。こういう残念^{ざんげん}な現^{げん}場^ばの姿^{すがた}を見る時ごとに、イエス・キリストの福音を本当に伝えるべきだ^{べき}という切^{せつ}実^{じつ}な心^{こころ}が生まれてくるようになります。それで、神様が天使を送^{おく}って守^{まも}ってくださって、伝^{でん}道^{だう}者^{しや}を^か通^としてみ^みことばを成^{じやう}就^{じゆ}され、聖^{せい}霊^{れい}が働^{はたら}かれてキリストが伝^{でん}わる時、福音を聞^きいて救^{すく}われるのです。このような体^{たい}験^{けん}をするようになる時、神様が私^{わたし}を通^とじてなされる伝^{でん}道^{だう}を味^{あじ}わえるようになります。



現場^{げんば}の姿^{すがた}を正^{せい}確^{かく}に知^ちるには、何^{なに}を見^みなければなら^らないのでしょうか

最初^{さいしゆ}に神様が神の国が来ると言^いわれたみことばが、今、成^{じやう}就^{じゆ}していることを信^{しん}じましょう。

二つ目、福音がなく^くて苦しんでいる世の中を見^みて、神様の一番^{いちばん}大^{おほ}きな願^{ねが}いを発^{はつ}見^{けん}しましょう。

三つ目、祈^{いの}りの現^{げん}場^ばと伝^{でん}道^{だう}現^{げん}場^ばを持^もって、祝^{しよく}福^{ふく}の^{こと}ばで人^{ひと}々^{びと}を生^なかす現^{げん}場^ばを持^もちましょう。